

令和4年度北海道若者活躍プロジェクト推進協議会 議事概要

日時 令和4年10月28日(金) 15:00~17:00

場所 札幌市教育文化会館 研修室301(札幌市中央区北1条西13丁目)

次第及び出席者は別紙会議資料を参照

議題1. 令和5年度以降の本プロジェクトについて

室蘭工業大学(大川事務局長)から、資料1に基づき説明があり、北海道(嶋倉主幹)から、「北海道庁では、各拠点の情報共有、PBL発表交流会に係る情報発信の在り方を関係部と検討中。効果的に発信し、各拠点の取組みを推進できるよう協力していきたい。」旨補足があった。

検討の結果、概ね原案どおり了承されたが、地域PBL発表交流会の具体的な運営方法については検討していくこととなった。

(質疑等)

意見: 地域PBL発表交流会を担当校が持ち回りで実施することについて、現時点で賛成できない。苫小牧において、スマートシティ協議会が8月に立ち上がり、ふるさと納税を資金源に学生が発表する場を設けようと、苫小牧高専を中心に実施することとなった。地域PBL発表交流会の担当校として、組織的人員を確保することが難しい。

回答: 各校が持ち回りで実施する内容は、プロジェクト自体の事務局とは考えておらず、教育の連携を図る枠組みとして担当してもらいたい。プロジェクトは廃止するが、地域PBL発表交流会を維持していく予定。場所、予算の割振りは室蘭工大が引き続き担当し、当日の日程、関係機関への調整を当番制にしたい。

意見: 資料5ページの当番校の業務を見ると、事務方や教員等人員が必要になると推測するので、当番制には賛成できない。

意見: 函館では、地域PBL発表交流会と同様の取組みとして、「アカデミックリンク」をルーチンで20年やっている。運営会議があるので、函館高専では地域連携担当の教員を決めている。タイムマネジメントしているのは、函館市、実質的な当番校は、はこだて未来大学。室工大が函館市及びはこだて未来大学の役割を継続するのか、北海道庁が入ってこられるのかが継続のポイントだと思う。

意見: 地域PBL発表交流会でも、やることはルーチン化されている。室工大で日程及び会場を決めておけば、具体的な運営に関しては、持ち回りの担当校で検討・実施していただけるのではないかと。

意見: 拠点主体の取組みなので、北海道が窓口になることは考えていないが、情報の共有、

発信に協力していきたい。

意見：運営の仕方を検討した結果、やめるという結論もあると思う。どういう形で残すのか意見を出してほしい。

報告 1. 北海道及び各拠点の活動状況について

北海道（嶋倉主幹）から、「北海道及び各拠点の活動状況は、資料 2 のとおりである。各拠点の今後の活動に活用願いたい」旨説明があった。

報告 2. 令和 3 年度就職状況について

北海道（嶋倉主幹）から、「令和 3 年度就職状況は、資料 3 のとおりである。」旨説明があった。

報告 3. 令和 4 年度地域 PBL 発表交流会について

室蘭工業大学（永野教授）から、資料 4 に基づき説明があった。

報告 4. その他

北洋銀行（熊谷管理役）から、「資料 4 のとおり、地域 PBL 発表交流会は北洋銀行セミナーホールで実施する。当日は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、事務局である室工大あてに事前申込をお願いしている。」旨説明があった。

室工大（大川局長）から、「全体の方向性について了解いただいたので、地域 PBL 発表交流会の継続に向けた運営方法や各拠点の運営について事務局から照会するので、ご協力願いたい。」旨依頼があった。

以 上